

第3回 南あわじ市まち・ひと・しごと創生総合戦略検証委員会 議事要旨

◆日時 平成29年7月24日（月）午後2時30分～午後4時20分

◆会場 南あわじ市役所本館3階 304・305会議室

◆出席者 委員：9名

松坂委員（委員長）、碓委員（副委員長）

伊吹委員、喜田委員、鈴木委員、谷池委員、西委員、野上委員、吉川委員、

事務局：4名

企画部長、ふるさと創生課長及びふるさと創生課担当2名

傍聴者：1名

◆会議の概要

1. 開 会 委員長及び事務局から開会の言葉

2. 協議事項

協議① 地方創生交付金を充当した事業の評価検証について

○ 事務局より協議①について、内容説明等を行った。

【委員の主な質問・意見・評価】

協議①について

④未来の担い手確保・育成総合支援事業

・委員：受け入れ農家の体制はどの程度か。

⇒事務局：集落の未来計画（人農地プラン）を策定している集落が対象であり、市内19集落です。

・委員：地域創成農学部生の卒業後の進路はどのようになっているか。

⇒事務局：卒業生51名、うち島内進学及び就職が14名です。

・委員：14名が島内に留まっている中で、住居についてよく考えていただきたい。

⇒事務局：空き家の活用も手段の一つであると考えています。空き家相談会を月3回程度のペースで開催しており、まずは空き家バンクの登録数を増やしたいと考えています。

・委員：達成状況としてはA評価が妥当。

⑤アンテナショップ開設運営事業

・委員：認知度の調査結果はどのようになっているか。

⇒事務局：関西圏に比べて認知度は低く、首都圏での認知度向上を図る必要があります。

・委員：都市部において実施した市場調査の都市部とはどこか。

⇒事務局：東京都（池袋及び神田等）で開催した物産展会場で併せてアンケート形式で市場調査が行われています。

- ・委員：知名度の向上を図るためには、良いものをピンポイントで紹介する方がブランドとして確立しやすい。最終的に淡路へ足を運んでくれることを目的として取り組んでいくべき。
- ・委員：達成状況としてはB評価が妥当。

⑥南あわじ市三力発信事業

- ・委員：インスタグラムを使っのフォトコンテストに関して、参加者は市内・市外どちらの方が多いか。市外の方が多ければそれだけ交流人口があると考えられるのでは。
 - ⇒事務局：フォトコンテストの参加には住所登録を要件としていませんので、市内・市外の割合は不明です。今後は市内・市外のいずれであるかを把握できるようにしていきたいと考えます。
- ・委員：黒岩水仙郷のホームページビュー数が伸びれば、水仙郷の入園者数も伸びる傾向にあるか。
 - ⇒事務局：黒岩水仙郷については、天候により開花期間が変動するため、必ずしもホームページビュー数が伸びれば入園者数が増えるというものではありませんが、ページビューが多いほど魅力発信はできていると考えられます。
- ・委員：達成状況としてはA評価が妥当。

⑦松帆銅鐸を活用した郷土愛の醸成と地域経済の活性化

- ・委員：K P I ②滝川記念美術館玉青館の入館者数見込はどうか。
 - ⇒事務局：松帆銅鐸は国宝級の資料と言われており、常設展示が叶えば相当の入館者数は見込めると考えています。
- ・委員：松帆銅鐸は文化庁が指定した日本遺産の構成文化財とされているので、淡路島日本遺産のPR活動と連携して事業展開されるべき。
- ・委員：達成状況としてはA評価が妥当。

4. その他

- 事務局より、今後の委員会日程について説明を行った。

5. 閉 会

- 閉会にあたり、碓副会長よりごあいさつをいただいた。

以上